

令和8年度の研究体制

教科	研究協力員	静岡大学教育学部 共同研究者	本校職員
国語	落合 麻央（岳洋中） 萩山 嵩心（川根中） 森 雄貴（焼津中）	講師 甲斐 温子	辻元 智 石野 裕子
社会	伊藤 宏毅（広幡中） 松野 智紀（金谷中） 渡邊 良（桜が丘中）	教授 伊藤 宏二 准教授 佐藤 正志 准教授 村井 大介	片岡 秀征 山竹 諒
数学	井出 千鶴（豊田中） 大柴 衛（島田一中） 石川 友莉（藤枝中）	教授 松元新一郎	美澤 将史 稲熊 紀昭
理科	松下 佳史（掛川東中） 鈴木 拓実（六合中） 岡崎 太亮（大井川中）	教授 延原 尊美 教授 郡司 賀透 講師 新鶴田道也	大久保正樹 松浦 昭彦
音楽	杉本 麻実（焼津中） 大川 真優（青島中） 小塚さくら（桜が丘中）	教授 長谷川 慎 助教 東屋敷尚子	池谷 美咲
美術	岩崎 晴子（大富小） 稲森 仁（菊川西中）	教授 高橋 智子	竹森 恵子
保健体育	大石 凌雅（島田二中） 大長 勉（藤枝中） 小林 拓矢（小川中）	教授 岡端 隆 准教授 杉山 卓也	平野 充訓
技術	藤間 知之（広幡中） 伊藤 雄（相良中） 柴田 伊織（掛川東中）	教授 紅林 秀治 准教授 室伏 春樹	小関 航平
家庭	柴田 梢（浜岡中） 片山圭津子（六合中）	教授 小清水貴子	伊藤 誠
外国語	杉山美加子（菊川東中） 杉本 実季（吉田中） 湯沢 陸人（島田二中）	教授 Clements Peter Frederick 准教授 大瀧 綾乃	松下 浩人 坂 恭佑
研究評議委員	教授 松元 新一郎 准教授 塩田 真吾 准教授 中村 美智太郎 准教授 河崎 美保		

教科研究・実践内容 本校ホームページにも掲載しています。ご覧ください。

＜お知らせ＞

研究部公式 LINE アカウント
友だち続々と増えています！

- あなたのスマートフォンから…
- ・附属島田中ホームページに簡単に移動できる。
 - ・各教科からのお知らせを受け取れる。
 - ・研究部へ手軽に問い合わせできる。
- 若い先生からベテランの先生まで…
- “つながり”を大切にして研究を進めています。

附属島田中学校研究部



友だち追加お願いします。



静岡大学教育学部附属島田中学校

令和8年度 研究案内（第2次）

附属島田中学校は（生徒のいる）**地域教育実践センター**をめざしています。
（年間を通して、教科の指導力を高める機会を複数提供しています。）

【地域実践・まとめ】

本校で行った授業を**地域の公立中学校で実践**し、教科研究の成果をフィードバックします。
また、研究成果を活用した**教科セミナー**の主催や論文発表等を通して地域に発信します。

【R8】国語科 数学科 理科 美術科
技術・家庭科（技術分野 家庭分野）
保健体育科

【教科研究・検証】

本校における教科研究の経過や成果を**教科研究会**で発表します。教科研究会当日の**公開授業**と**研究協議会**を通して、参観していただいた地域の先生方と共に教科指導力を高める機会とします。

【R8】社会科 外国語科 音楽科

2年サイクル

【教育研究】

地域のニーズに応えやすくするため、授業全体に係る研究主題を置かず、各教科で設定したテーマに基づく研究活動を行っています。静岡大学共同研究者、そして地域の学校の先生方に委嘱する研究協力員と連携し、教科の研究を深めていきます。

静岡大学教育学部附属島田中学校
〒427-0041 静岡県島田市中河町 169 TEL：0547-35-6500 FAX：0547-35-6502
MAIL：oshimada@shizuoka.ac.jp URL：https://fzk.ed.shizuoka.ac.jp/shimachu/ ⇒





音楽科 教科研究・検証

1. 教科テーマ

「音や音楽と豊かに関わる資質・能力の育成」
～身体知を働かせ、
実感を伴って音楽表現を深める授業を目指して～

身体を使った経験や実践を通し、実感を伴って音楽表現を深める授業を目指します。身体知を働かせながら主体的に音楽と関わることで、音楽のよさや楽しさを深く理解し、豊かな資質・能力の育成を目指す研究をしています。

2. 研究案内

◇教科研究会 実施日:11月20日(金)
研究授業:1年生 歌唱「赤とんぼ」
※内容についての詳細は、3次案内でお伝えします。

保健体育科 地域実践・まとめ

1. 教科テーマ

観察から洞察へ
—地域実践から見直す“選りとり力”を育てる授業づくり—
～F+OODAを手がかりにした学習過程の再整理～

本校保健体育科では、これまでOODA(観察・判断・決定・行動の流れで状況に対応する考え方)やF+OODA(見通しを加えて、観察・判断・行動につなげる考え方)を活用し、生徒が自分や仲間の動き、場の状況を見取り、次の行動につなげる授業づくりを進めてきました。今年度は4年目として、昨年度までに整理してきた「観察から洞察へ」(見たことから理由や条件まで考えること)の流れを、地域実践を通して改めて見直します。重視するのは、手立てをそのまま広げることではなく、生徒が何を見て、どう意味づけ、どのように選り直しているのかを見取ることです。各校の実践を通して、「観察→洞察→選択→実行→再構成」(見て、考え、選り、試し、考え直す流れ)を確かめながら、保健体育科の学びのあり方を見つめ直していきます。

2. 研究案内

◇授業づくりセミナー 実施日:2月2日(火)PMを予定
◇フィードバックラボ:単元の区切りごと開催中
本研究における検証のフィードバックに加え、本校保健体育科の実践を地域の先生方と共有する場として、グループLINEを利用しています。

技術・家庭科(技術分野) 地域実践・まとめ

1. 教科テーマ

生徒の日常生活における解像度を高める授業と振り返り
～技術科教育における主体的に学習に取り組む態度の
評価方法の実証的考察～

よりよい生活や持続可能な社会の実現に向けて、主体的に身の回りにある技術に目を向け、自分ごととして関わりを捉え、今後の社会における技術の在り方を考えることのできる生徒の育成を目指しています。技術科の各内容の要素(学習過程)に応じて振り返りの在り方を考え、実践を行うことで、自らの学びを調整し、主体的な学習となるよう有効的な評価方法を考察します。

2. 研究案内

◇焼津水産高校フィールドワーク 9月24日(木)16:00～18:00
→水産業における人材育成の先頭を走る焼津水産高校にて、「水産生物の栽培技術」への理解を深め、授業実践の充実を目指しましょう。
◇授業づくりセミナー 1月下旬実施予定
※日程や内容についての詳細は、3次案内でお伝えします。

社会科 教科研究・検証

1. 教科テーマ

主体的に社会に参加できる資質・能力の育成
～分野横断的な単元におけるエンパシーを働かせた考察・構想～
本校の社会科では、「社会をよりよいものにしていくために、実社会に参加していける生徒」の育成に向け、エンパシー(社会背景に関する適切な知識に基づき、当事者の思いをより高精度に想像する力)を働かせた考察・構想を取り入れた授業の在り方を研究しています。次期学習指導要領に向けたWGでは、身近な地域の問題解決を中心とした「分野横断的な単元」が注目されています。違う地域・違う時代の人々の価値観と現代社会の価値観との往来の中で、生徒がエンパシーを働かせどう社会を捉えるか、研究して参ります。

2. 研究案内

◇教科研究会 実施日:11月19日(木)
研究授業:1年生・3年生での授業を予定
※内容についての詳細は、3次案内でお伝えします。

外国語科 教科研究・検証

1. 教科テーマ

目的・場面・状況に応じて表現を選択・調整し、
英語で思いを伝え合う生徒の育成
～真正性あるやり取り型タスクの実践を通して～
TBLTの実践を通じて、生徒はやり取りの実践を重ねてきました。今年度は、やり取りにおいて生徒が自分の思いを伝えるために、どのように表現を選択・調整しているのかということに注目して研究を進めます。

2. 研究案内

◇教科研究会 実施日:11月19日(木)
研究授業Ⅰ:1年生 研究授業Ⅱ:2年生
※内容についての詳細は、3次案内でお伝えします。
→AIとの反復練習や個人追究、ペアワークなどを通じて、目的・場面・状況を意識して、「意味あるやり取り」を行う姿を目指した授業を公開します。

国語科 地域実践・まとめ

1. 教科テーマ

学びの実感を目指した授業づくり
学びの実感を、「言葉の重要性」「より深く読み、豊かに表現するための方法」「自己のものの味方の広がりや深まり」と考えています。昨年度まで、生徒が上記の学びを実感するための手立てとして、真正性のある言語活動の設定や指導内容の系統性を意識した授業実践を行ってきました。今年度から、自らの学びを省察する機会の充実に重点をおき研究を進めています。

2. 研究案内

◇授業づくりセミナー 実施日:1月下旬
公開授業:3年生(和歌を扱う単元)
講師:静岡大学教育学部 講師 甲斐 温子 先生
※日程や内容についての詳細は、3次案内でお伝えします。

数学科 地域実践・まとめ(教科研究・検証を兼ねる)

1. 教科テーマ

数学的な思考力・表現力が高まる授業をめざして
～統合的・発展的に考察する力の育成とその分析～
数学的な思考力・表現力を育成するための望ましい指導のあり方を、実践を通して明らかにしていくことをねらいとしています。「発展」の必要性の追究と「統合」の分析を行い、今年度も生徒が主体的に考える姿を目指し、統合的・発展的に追究できる課題の開発を重点に掲げ、研究を進めています。

2. 研究案内

◇教科研究会 実施日:11月20日(金)
研究授業:3年生「相似な図形」、研究協力員による授業実践報告
◇研究協力員の先生による授業実践、センター紀要寄稿
◇授業づくりセミナー 実施日:1月下旬～2月上旬
公開授業:2年生「四角形の定義活動」
講師:日本体育大学 助教 村田翔吾 先生
◇数学科授業を語る会 10月 講師:静岡大学 峰野宏祐 先生
2月12日(火) 講師:静岡大学 松元新一郎 先生

理科 地域実践・まとめ

1. 教科テーマ

問いを見いだす授業過程
～主体的に問いを見いだし追究する生徒の育成～
本校理科部では、科学的探究の出発点となる「問いを見いだす力」に着目し、生徒が主体的に問いを見だし、科学的に追究する授業づくりを研究しています。本年度はOPPシートを活用し、主体的に学習に取り組むための手立てになるのではないかと研究を進めています。

2. 研究案内

◇研究協力員の先生による授業実践、センター紀要寄稿
◇授業づくりセミナー 実施日:9月25日(金)
公開授業:2年生「化学変化と原子・分子」
講演会講師:埼玉大学教育学部 教授 中島雅子 先生
「一枚ポートフォリオ評価論による非認知能力の育成」
◇理科を語る会(授業実践紹介、授業づくり交流会)
◇静岡地質学フィールドワーク 実施日:10月18日(日)

美術科 地域実践・まとめ

1. 教科テーマ

豊かに発想・構想し、
見方や感じ方を深める生徒の育成
～生徒の自己理解を支える授業計画と工夫～

変化の著しい社会に対応するためには、自己理解と自己調整力が必要です。美術科では、生徒が自分のスキルや学びの状況を自覚(メタ認知)しながら、主体的に造形活動に取り組み、見方や感じ方を深める授業を目指します。ポートフォリオ、制作(表現)と鑑賞(受容)、造形要素の明確化と言語化などをキーワードに、生徒がいつでも学びを振り返ることができる授業計画と工夫について研究しています。

2. 研究案内

◇授業づくりセミナー 実施日:11月19日(木)
これまでの研究成果を振り返るとともに、地域の小中学校でも同じ実践をした成果や課題を共有することで、美術科における学びの蓄積や自覚化について考えます。日頃の授業づくりでお悩みの先生方、ぜひ一緒に美術の授業について語り合しましょう。

教科研究・検証



校内研修



研究授業・地域実践授業



授業づくりセミナー

令和8年度も、静岡大学教育学部 河崎美保先生を全体研究アドバイザーとしてお招きし、学習科学の視点から「主体性」をキーワードに研究を推進しています。

地域実践・まとめ